

## 議題(1)再評価対象事業の審議

以下のとおり再評価対象事業について、審議を実施した。

## ＜再評価＞

番号	事業 No.	担当課名	箇所名	評価 区分	パワポ ページ	発言 委員	委員からの意見・指摘事項等	回答・対応
1	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	9	服部委員	工期短縮の要因は何か。	複数棟を設計施工一括発注としたことが要因と考えております。 直営事業の場合、設計と工事が別発注であることや、受注機会創出等の観点から、1棟ごとに工事を発注しているため、事業完了までに時間を要しています。
2	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	10	服部委員	可変性のある間取りを実現する中で耐震壁を減らしているとのことだが、耐震性という観点で問題ないのか。	必要な耐震性は確保されているため、問題はありません。 直営事業では見られない間取りであり、民間の技術力や提案力による効果と言えます。
3	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	9	佐野委員	入札により受注者を決めていると思うが、どの時点でコスト縮減や工期短縮の効果が見込めると想定したのか。	発注に先立ち、受注業者とは別業者にて複数棟の設計施工一括発注による効果を検証しており、十分な縮減効果が見込めることを確認した上で発注しています。
4	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	9	松本委員	直営事業では受注機会の創出等の観点から個別発注しているとのことだが、佐鳴湖でPFIを採用した理由やPFI採用の注意点は何か。	佐鳴湖団地は県内でも有数の大規模団地であり、十分なスケールメリット等が見込めたことからPFIの採用に至った経緯があります。 基本的には、受注機会の創出等の観点から、従来どおりの個別発注としています。
5	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	11	加藤(裕) 委員長	大幅な工期短縮に伴う入居者への影響等はあるか。	きめ細やかな入居者説明を行っており、特に問題なく移転等は進んでいます。
6	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	11	鳥海委員	入居者からの相談件数が非常に多いが、説明会だけではケアしきれなかったということか。	気軽に質問等を受け付ける交流会等も開催しているため、件数だけ見ると多く感じると思いますが、入居者説明会は複数回開催しており、十分なケアが出来ていると考えています。
7	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	11	鳥海委員	件数が非常に多いので、事業者側の負担軽減についても検討するとより良いと思う。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
8	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	-	小山委員	他にPFIの実績はあるか。	他部局の事業になりますが、過去に高校や警察署の建替事業において採用実績があります。
9	1	公営住宅課	県営住宅佐鳴湖 団地建替整備事業	再	-	小山委員	佐鳴湖PFIと比較して効果等に違いはあるか。	他部局事業であり詳細を把握していないため、この場では回答を控えさせていただきます。
10	2	農地整備課	西浦みかん 立保古宇	再	2	松本委員	鳥獣害防止柵及び用水路について、着工していない状態か。	農道整備後に用水路及び鳥獣害防止柵を整備する予定です。

<再評価>

番号	事業 No.	担当課名	箇所名	評価 区分	パワポ ページ	発言 委員	委員からの意見・指摘事項等	回答・対応
11	2	農地整備 課	西浦みかん 立保古宇	再	2.11	松本委員	既に事業効果が発現しており、地元住民も満足しているようだが、今後の用水路や鳥獣害防止柵の整備によって、更なる効果が期待できるということか。	そのとおりです。
12	2	農地整備 課	西浦みかん 立保古宇	再	3	佐野委員	全体事業費が倍になっているが、事業費の変更についてどのような手続きが必要になるか。	土地改良法に基づき、事業計画の計画変更の手続きが必要となります。また、事業費(予算)については、国及び県議会の承認を得ることとなります。
13	2	農地整備 課	西浦みかん 立保古宇	再	-	久留戸委員	先日の雨での被害状況はいかがか。	特段、大きな被害は報告されていません。
14	2	農地整備 課	西浦みかん 立保古宇	再	3.7	服部委員	西浦地区の整備は、今回の地区を以ってすべて完了するという理解でよろしいか。	本地区は、令和12年度の事業完了を目指して進めています。本地区以外に、令和3年度に事業着手した地区があります。
15	2	農地整備 課	西浦みかん 立保古宇	再	5	加藤(裕) 委員長	連絡会を設置しているようだが、担い手を増やす取組等を実施しているのか。	県事業「がんばる新農業人支援事業」を活用し、就農希望者は、指導農家のもとで1～2年間の実践研修に取り組んでいます。
16	2	農地整備 課	西浦みかん 立保古宇	再	5	加藤(裕) 委員長	農業基盤整備の成果をPRし、担い手の確保に努めること。	工事実施にかかる地元説明会等にて、事業関係者に事業進捗等を報告し、事業成果をPRしていきます。
17	2	農地整備 課	西浦みかん 立保古宇	再	-	佐野委員	隣接地区の評価を実施する場合は、参考資料や比較表を添付いただけるとわかりやすい。	承りました。
18	4	道路整備 課	(主)吉田大東線	再	8	松本委員	変更理由のうち、「橋梁拡幅の計画変更」と「隣接する市の河川管理道設置に伴う補強土壁の増工」は地元や市と事前に情報共有できていれば当初計画に盛り込めなかったのか。	橋梁については元々片側歩道を設置する拡幅の計画がありましたが、計画後に地元の意見を聴取したところ、地域の分断を懸念する声があったため、両側歩道に変更したものです。河川管理道については、着手後の詳細設計の中で河川に影響することが判明し、そこから市との協議を行ったため、今回変更となったものです。
19	4	道路整備 課	(主)吉田大東線	再	6	佐野委員	「現道の交通量」の単位は。	一日あたりの交通量です。
20	4	道路整備 課	(主)吉田大東線	再	4	佐野委員	整備なしの断面交通量127百台のうち半分弱が現道の交通量ということでしょうか。	そのとおりです。
21	4	道路整備 課	(主)吉田大東線	再	2、6	鳥海委員	現道の交通が転換することで歩行者が安全になるということだが、バイパスには歩行者は想定されていないのか。	牧之原市側の人家が連担している区間は片側歩道を計画していますが、それ以外の区間については歩行者を想定していないため、歩道を計画していません。
22	4	道路整備 課	(主)吉田大東線	再	2	鳥海委員	幹線道路としての機能を期待しているとのことだが、追い越しができない構造になっているため、遅い車がある場合渋滞してしまう道路になるのではないのか。適切に追い越しさせるような計画の検討はしているのか。	追い越しができるような計画はしていませんが、故障車などが発生した場合は路肩に停車できるよう、幅広い路肩を計画しています。

<再評価>

番号	事業 No.	担当課名	箇所名	評価 区分	パワポ ページ	発言 委員	委員からの意見・指摘事項等	回答・対応
23	4	道路整備 課	(主)吉田大東線	再	6	鳥海委員	現道の交通量は減るが、歩道がないことにより変わりはないため、バイパスの整備と併せて現道の速度対策等についても検討してもよいのでは。	現道の安全対策についてもしっかりやっていきたいと考えております。
24	4	道路整備 課	(主)吉田大東線	再	10	服部委員	建設発生土の有効活用でどれくらいのコスト縮減が図れるのか、わかる範囲で教えていただきたい。	詳細な数字は持ち合わせていませんが、近隣の工事からの受入れについて調整しているところです。
25	4	道路整備 課	(主)吉田大東線	再	6	佐野委員	現道の交通量が多いのか少ないのか、また、この規模の道路でこの交通事故件数が多いのかどうかかわからない。例えば、別の同じような広さの道路だとこれくらいのような目安があれば教えていただきたい。	交通量の目安はありませんが、日5千～6千台の交通量は、一般的な2車線の道路の容量で対応可能な交通量です。交通事故についても目安はありませんが、本グラフでは件数というよりも、追突や出会い頭が多いというような事故の内訳を表現しています。
26	11	河川海岸 整備	二級河川 巴川	再	4	松本委員	遊水地、河道整備と放水路で一括で整備効果を評価をしたということだが、別々で検討をしているものはないか。	事業については、流域全体として評価を実施しており、別々での評価は実施しておりません。
27	11	河川海岸 整備	二級河川 巴川	再	4	松本委員	遊水地の整備方法により、下流側の河道整備の方法に影響が出てくるのか。	遊水地は洪水調節を行う施設であり、洪水調節後に下流に流下する流量に対し、河道掘削によりどれだけ河道断面を広げるかといった検討をしています。
28	11	河川海岸 整備	二級河川 巴川	再	3	松本委員	資料中で溢水とあったが、越水ではないか。	越水は築堤区間からこぼれること、溢水は堀込河道からこぼれるといった違いで記載しておりますが、実際は溢水、越水ともにあります。
29	11	河川海岸 整備	二級河川 巴川	再	5	加藤(裕) 委員長	事業を続けていくことで令和4年度に発生した浸水被害に対し、ゼロに近い浸水被害軽減ができるという認識でよいのか。	事業の目標としては、1/10規模の洪水を流すことを目標とした改修を進めています。引き続き事業を進めることで更なる浸水被害軽減ができるものと考えております。
30	11	河川海岸 整備	二級河川 巴川	再	5	加藤(裕) 委員長	豪雨が頻繁しているので、今までに考えられる以上の効果を発現していくような方策を考えていかなければならないということで、現事業が進んでいると理解した。	—
31	11	河川海岸 整備	二級河川 巴川	再	—	小山委員	気候変動が進むと降雨量が増えることが想定される中で、流域治水といった取組も増えているが、今後の事業計画との関連はどのように考えるか。	気候変動を見込んだ計画の見直しについては、現在検討を進めております。検討結果を踏まえて、流域治水の取組についても議論し、河川整備計画を変更していくことになるかと考えています。
32	31	砂防課	口坂本No.2	再		松本委員	事業完成後においても事業箇所のモニタリングを行う必要があると思われるが、事業完成後のモニタリングは計画しているか。	本事業では、有識者に助言いただき、地下水や地すべりの変状等に基づき、全体計画を策定しています。工事を行いながら地すべりの観測を行っており、全体計画で予定していた工事が完了後に、有識者に助言いただき、地すべり対策の効果を判定し、地すべりの鎮静化を判断することとしています。施設の概成後、地すべり対策施設は、県で引き続き管理していきますが、再度地すべりが活発化するおそれがあるため、施設のパトロールを継続して行い、適切に管理していきます。
33	31	砂防課	口坂本No.2	再	6	服部委員	横ボーリングが被災したことによる計画変更であるが、今後は同様の事象が生じないか。	当初計画では、横ボーリングの整備により地すべりの鎮静化を図る計画でしたが、豪雨により地すべりが活発化し、地表面に設置した横ボーリングが被災しました。今回の計画では、地すべりの影響を受けない地すべりブロック外へ大規模な排水トンネルを整備し、そこから地下水を排除することにより地すべりの鎮静化を図る計画としています。

<再評価>

番号	事業 No.	担当課名	箇所名	評価 区分	パワポ ページ	発言 委員	委員からの意見・指摘事項等	回答・対応
34	31	砂防課	口坂本No.2	再		服部委員	豪雨が頻発化しているが、今の計画であれば、地すべりの鎮静化を図れるのか。	有識者に助言をいただき、最適な工法を計画しています。
35	31	砂防課	口坂本No.2	再	13	小山委員	地すべり対策施設はどの程度の期間その機能が維持されるのか。	地すべり対策施設は、老朽化により施設の機能が発揮できなくなるものがあります。特に、水抜きボーリングは、経年変化により管内が詰まり、排水機能が低下している事例が施設パトロールで確認されています。パトロールで排水機能の低下を確認した場合は、管の洗浄等により地下水を排除する機能を確保し、老朽化対策を行っていきます。
36	31	砂防課	口坂本No.2	再	13	小山委員	今回の費用対効果にメンテナンス費用は計上されているのか。	維持管理費用として計上しています。
37	43	港湾整備課	御前崎港海岸 御前崎・下岬地区	再	7	久留戸委員	令和18年度の完了予定としているが早期に完成しないとまずいのではないのか。	施設整備は、港湾利用者などの業務に大きな支障とならないように、影響を極力抑えつつ実施する計画として令和18年度としていますが、今後も完成が早められるように関係者と調整を行い、早期完成を目指していきたいと思っております。
38	43	港湾整備課	御前崎港海岸 御前崎・下岬地区	再	7	鳥海委員	事業費が1.5倍になっているが、B/Cが1.7から1.6にしか変化していない理由は何か。便益も増えたのでこのような結果になっているのか？費用だけ増えていると便益が下がるような気がするのです。	総便益188.3億円は、一般資産被害額から公共土木施設被害額、公益事業等被害額を足したものになっており、それを50年間の社会的割引率を考慮して算出しています。費用は、維持費を考慮し、115.8億円とします。その結果、1.6を導きだしており、前回算出時の資料を持ち合わせていないので、現時点では比較できませんが、今回提出した資料のように示させていただきます。 <補足：当日未回答> (問『B/Cが1.7から1.6にしか変化していない理由は何？』) ・便益となる総被害軽減額は、浸水想定区域内の家屋数や事業所数等を基に算定しております。 ・前回、事業所数については、御前崎市税概要に掲載されている市全体の家屋数に対する浸水想定区域内の家屋数の割合を、市全体の事業所数に乘じて算出しております。 ・今回の便益算定にあたっては、現状を反映させるため、事業所数についても住宅地図から拾い直しております。 ・このように、現状の被害軽減戸数に見直した結果、便益も前回から増えたことから、B/Cが大きく変わることはありませんでした。
39	43	港湾整備課	御前崎港海岸 御前崎・下岬地区	再		鳥海委員	工期が伸びたことで完成する前に被災する可能性が高くなっているのが、その被害というのは便益の中に計上されているのか。	現在、順次嵩上げを進めていましたが、既存の施設は高さが足りていない箇所も含めて一連の防護ラインをつくっております。現在の浸水想定エリアは、津波が施設を越流してしまうとその施設は無いものとして想定しておりますが、実際には、その施設は壊れるとは限りませんので、高さが足りないところではありますが相応の減災効果を発揮すると考えております。また、未整備区間から優先的に進めていますが、施設が無いところだと減災効果が全く期待できないので、少なくとも来年度までには、未整備区間は完了させる予定です。その後、既存施設の嵩上げ改良を積極的に進めることで防護効果を高めてまいります。一方で、施設延長が短い陸間の整備が何か所もあるため時間がかかりますが、同時に施工できるように、利用者と調整を行いたいと思っております。 <補足：当日未回答> (問『事業期間延伸に伴い未完成時点の減災効果を便益に計上しているのか？』) ⇒ 完成前の被害の軽減効果は、便益として計上していません。

<再評価>

番号	事業 No.	担当課名	箇所名	評価 区分	パワポ ページ	発言 委員	委員からの意見・指摘事項等	回答・対応
40	43	港湾整備課	御前崎港海岸 御前崎・下岬地区	再	3	松本委員	右の端の水色の部分はどのようにしているのか。	港湾海岸の区域外にはなるのですが、施設は連続して整備されています。ただし、津波シミュレーションの結果によって施設高さは違っている場合があります。
41	43	港湾整備課	御前崎港海岸 御前崎・下岬地区	再		松本委員	港湾以外の箇所もあわせて完全に連続した施設となれば、整備効果を発揮すると思うが、実際のところはどうか。	施設が連続した状況になっておりますので、整備効果は発揮できると考えています。
42	43	港湾整備課	御前崎港海岸 御前崎・下岬地区	再		小山委員	シミュレーションは想定が変わると結果が変わると思うが、シミュレーションの結果に依存して大丈夫なのか。	全県でシミュレーションを実施し、ある程度の区間ごとに津波の高いところを踏まえて一連の区間の高さを決めております。そのうえで隣の区間と連続しながら防護ラインを計画し、津波対策施設の整備を進めております。
43	43	港湾整備課	御前崎港海岸 御前崎・下岬地区	再		小山委員	そのシミュレーションは震源が変わっても、変わらないという認識でいいのか。	レベル1として想定されている東海、東海・東南海、三連動(東海・東南海・南海)などの地震において、それぞれの津波高を検討しておりまして、その中で最も高い津波を想定して施設整備を行っています。
44	43	港湾整備課	御前崎港海岸 御前崎・下岬地区	再		加藤(裕) 委員長	もっとも効果的な形で事業が進んでいるということを情報発信すればいいかと思います。事業費も大きく変わるので、きちんと情報発信して住民の方にもご理解を得ていただければと思います。	承知しました。 ありがとうございます。

## 議題(2)事後評価対象事業の審議

以下のとおり事後評価対象事業について、審議を実施した。

### <事後評価>

番号	事業 No.	担当課名	箇所名	評価 区分	パワポ ページ	発言 委員	委員からの意見・指摘事項等	回答・対応
1	1	公営住宅課	県営住宅今沢団地建替整備事業	事後	-	久留戸委員	高齢者世帯(年金所得のみの単身高齢者の場合)の家賃はどの程度か。	公営住宅法に基づき、所得に応じて家賃が決定するため、高齢による家賃低減はありません。 1DKであれば17,700円～35,000円程度であり、年金所得のみの単身高齢者であれば、一般的に最も安い家賃となる場合が多いです。 最も広い部屋(3LDK等)では7万円以上となります。
2	1	公営住宅課	県営住宅今沢団地建替整備事業	事後	14	小山委員	子育て世帯や多様な世帯の入居を促進するための取組は行っているか。	子育て世帯の入居申込時の倍率優遇を実施しています。
3	1	公営住宅課	県営住宅今沢団地建替整備事業	事後	-	小山委員	介護が必要な入居者はいるか。	多数入居しています。
4	1	公営住宅課	県営住宅今沢団地建替整備事業	事後	-	小山委員	福祉施設とセットで整備していく等の方針はあるか。	現時点では無いが、今後の検討課題と認識しています。
5	1	公営住宅課	県営住宅今沢団地建替整備事業	事後	-	鳥海委員	入居者の状況変化(世帯人数の増減)に対応する制度はあるか。	住替え制度があり、入居者から要望があれば住替えが可能です。
6	1	公営住宅課	県営住宅今沢団地建替整備事業	事後	-	鳥海委員	自分から言い出せない入居者もいると思われるので、県側からの働き掛けがあると良い。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
7	1	公営住宅課	県営住宅今沢団地建替整備事業	事後	7	加藤(裕)委員長	今後も県営住宅事業はコスト縮減が進んでいく見込みか。	佐鳴湖団地と今沢団地については、県内でも有数の大規模団地のため、スケールメリットによるコスト縮減が実現できていますが、大規模団地の建替えは概ね完了し、今後はスケールメリットが望めない中小規模団地の建替えが主となるため、複数団地を1箇所に集約して一括発注する等、コスト縮減のための事業手法の検討が今後の課題と考えております。
8	4	農地整備課	中川	事後	6	服部委員	担い手への農地集積の進展や、総収益の増加など事業効果が適切に発現している。	今後も、本地区のような農業基盤整備を推進し、農業経営の安定化を図ります。
9	4	農地整備課	中川	事後		服部委員	農業にも電化の波が訪れる。エネルギーを農業にどのように繋げていくかという視点も今後の農業には大切。	ご意見は参考にさせていただきます。
10	4	農地整備課	中川	事後		松本委員	パイプラインは埋設か。もともと開水路だった箇所はなくなっているのか。	元の開水路は撤去せず残しており、道路排水等に役立っています。

<事後評価>

番号	事業 No.	担当課名	箇所名	評価 区分	パワポ ページ	発言 委員	委員からの意見・指摘事項等	回答・対応
11	4	農地整備 課	中川	事後		小山委員	このような整備によってうまくいく地域とうまくいかない地域があるのか。また、地域選定の考え方は。	担い手の意欲が高い地域はうまくいく傾向があります。地域からの要望を受けて、事業化を進めています。
12	9	街路整備 課	都市計画道路池 田柵線	事後	4	佐野委員	車の状況の写真は職員が撮影したものか。整備前後の写真を対比するときは撮影時期を合わせた方がいい。	職員が撮影したものです。ご意見は参考にさせていただきます。
13	9	街路整備 課	都市計画道路池 田柵線	事後	9	小山委員	対応方針に安全で快適な歩行空間が創出されたとあるが、歩行者はどの程度増えたのか。	歩行者数は、朝7時から夜7時までの12時間で130人です。
14	9	街路整備 課	都市計画道路池 田柵線	事後	7	小山委員	道路整備の人口等への寄与を見るのであれば、環境が近い場所で、道路整備以前の傾向や整備の有無による比較を行わないとよく見えないのでは。	今後の参考にさせていただきます。
15	9	街路整備 課	都市計画道路池 田柵線	事後	6	服部委員	最近、この歩道を歩く機会があった。歩道からは、鎧ヶ淵がよく見え、歩道の設置は、住民にとってもプラスになっていると思われた。町が休憩所も設置していて、相乗効果もある。安全で快適な歩行空間が創出できていると感じた。	展望箇所や休憩所など、町と連携して整備を行っています。
16	9	街路整備 課	都市計画道路池 田柵線	事後		加藤(裕) 委員長	本箇所の東側で進められている三島市の道路整備の状況はいかがか。	2工区あるうちの1工区は今年度に完了し、もう1工区も順調に進んでいます。